

転入者より一言

(組織順)



尾坂 康
研究調整監

22年ぶりで茂浦に戻ってきました。

この間、漁政課、八戸水産事務所、漁業振興課、水産試験場、八戸水産事務所、水産振興課、内水面水産試験場、内水面研究所、水産振興課、水産総合研究センター、海区漁業調整委員会事務局と異動し、現場と行政を行き来しておりましたが、今回は故郷に帰ってきたような思いです。建物は新しくなりましたが周辺の懐かしい風景、そして当時一緒に在職していた仲間もあり、ほっとしております。今年は、独法化、組織統合と慌ただしい年で大きな節目の年でもあります。また、増養殖研究所の前身である水産増殖センター開設40周年という記念すべき年であります。このような重要な年にこそ、困難に立ち向かい精一杯頑張りたいと思います。関係者の皆さんの協力と更なるご支援を頂き、漁業者や県民により身近な開かれた試験研究機関を目指して一層努力していきたいと思っております。



上原子 次男
浅海環境部長 (総括研究管理員)

水産振興課から異動になりました。前身の水産増殖センターも含め増養殖研究所での勤務は初めてです。

微力ではありますが、漁業者の方々に少しでも役に立ちたいと思っております。よろしく願いいたします。



柳谷 智
魚類部 研究管理員

魚類部でウスメバル、キツネメバルの種苗生産を担当することになりました。大昔の記憶を辿り、新時代の息吹を感じ、休日返上でメバルの赤ちゃんの世話をする毎日です。「海峡メバル」で帰ってくるよう頑張ります。



藤川 義一
磯根資源部 主任研究員

漁港漁場整備からの異動で12年ぶりに当所に戻り磯根資源部に配属となりました。

海藻を担当し6年目となりますが、海の生き物や環境の面からも重要な海藻を増やすために、新たな気持ちで日々努力して参りますのでよろしくお願い致します。



佐藤 博之
なつどまり一等機関士

今回の異動で試験船「開運丸」より転船になりました。

同船はイカの資源調査が主でありましたので養殖事業については初めてです。見るのも触るのも初めての物が多く大変興味があります。覚えるのに大変ですが地道に頑張っていきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。



長津 司
なつどまり 機関長

このたびの人事異動により水産振興課「漁業取締船」から4年ぶりに異動になりました。

仕事内容は前に乗船していた時と同じようですが、新メンバーもいますので和を大切に試験、調査等を行っていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

